平成 25 年 1 月 29 日

大垣市新庁舎へ求める機能に係る
検討報告書（案）

大垣市新庁舎建設市民懇話会

1　はじめに

本懇話会は、新庁舎建設の推進に当たり、現庁舎が抱える問題点の抽出と、市民目線から見た新庁舎に求める機能について、平成 24 年 10 月から平成 25 年1月までの間に計５回にわたり研究・検討した。

最初に庁舎の現状を把握するため、庁舎内の見学を実施し、懇話会委員が実際の現場で感じた問題点を洗い出すとともに、未来の市役所に求めるもの、市庁舎のあるべき姿を検討した。

次に市内在住の 2,000 人を対象に行った「新庁舎建設市民アンケート調査」の結果を分析し、幅広い観点からの意見を取り込むことで、本懇話会における内容をより客観性の高いものとした。

また、最近の傾向をつかむため、近年の近郊における庁舎建設の先進事例を研究し、実際に視察も行った。

以上の研究・検討の結果について、最終的に「大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告書」としてまとめ、提出するものである。

2　現庁舎の問題点について

新庁舎へ求める機能を検討する前提として、現庁舎の問題点を洗い出した結果は、以下のとおりである。

防災機能について

・現庁舎そのものの耐震性が低く、災害対策本部を設置する建物として問題がある。また、緊急対応可能な常設の防災設備が不十分である。

・災害時における災害対策本部と現地対策本部間での連絡を電話や FAX だけに頼っており、情報伝達手段として不十分である。

施設の狭隘化について

・部署間での情報共有の不足が生じている。

・目的別（ライフイベント別）での窓口設置になっていない。

・部署名を記載してあるサインシステムはわかりにくい。

・本庁にあるべきサービスと本庁外に移設するべきサービスの分類化が図られていない。

プライバシーについて

・市民からの相談時において専用の相談スペースが不足しており、相談内容によっては、個人のプライバシーが守られていない。

多目的利用について

・観光施設やイベントを開催する機能を備えた一般の方々が利用できるような建物構造になっていない。

・古い施設であるため、今日的なユニバーサルデザイン化という方向での改修が困難である。

３　新庁舎に求める機能について

市役所は、多様化する市民ニーズに総合的かつ効率的に対応し、市民サービスの向上と効率的な行政運営を実現するための基盤になるべきものである。

よって、現庁舎の問題点を踏まえたうえで、この先、半世紀にわたり、我々、市民の生活を支えていく未来の新庁舎のあるべき姿として必要な機能は、以下のとおりであると考える。

安全性について

災害時には市庁舎において災害対策本部を設置し、情報収集、指揮命令機能の中心となることから、高い耐震性、非常時の自立性を持つとともに、現地対策本部と迅速な情報交換を可能とする機能を持ち合わせた建物とする。

また、個人情報保護や情報漏洩防止の強化に向けセキュリティを高くし、相談時等における個人のプライバシー保護に対応した建物とする。

利便性について

年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰にでもわかりやすく、移動しやすく、利用しやすいユニバーサルデザインを基本とした建物とする。特に、市民の受付窓口にあっては、ライフイベントにあった目的別のフロアーレイアウトなど人に優しい建物とする。

また、現在ある市民サービスセンターの更なる設置など、市全体を一体的にとらえ、市役所を中心とした市民サービスの構築を検討していく。

効率性について

情報化時代に対応する設備を配備できるよう努めるとともに、事務量の増加や多様化する市民ニーズに対応できる建物とする。業務効率化のためにも、そこで働く職員が快適に利用でき、組織間での横断的な情報共有ができるスペースの設置など柔軟な機能を持たせる建物とする。

その他

建築経費については冗費を排除しつつ、永い将来に渡って利用できる長寿命化に配慮するとともに、多くの市民の理解が得られ、誇りとなるような市のシンボル的な機能を実現することも併せて検討する。また、市民の多様な需要に対応するため、１つのスペースに拡張性と多機能性を持たせるなど創意工夫した建物とする。

４　おわりに

本庁舎は、現在、築48年が経過しており、老朽化している上に、平成7年から8年にかけて実施された耐震診断結果においては、耐震性が低いと判断され、防災拠点施設として十分な役割を果たすことは困難であると言える。

また、鉄筋コンクリート造による建物の一般的な使用期間が約50年といわれるなか、他市の事例をみても新庁舎建設までには多くの経費と時間を要している。そのため、時間的な猶予は多いとは言えない状況にある。今後、新庁舎建設に向けた基本構想、基本計画策定などにおいては、市民からの意見を反映・集約しながら、更に深く検討を重ねていく必要性が極めて高く、今後も着実で計画的な新庁舎建設推進を切に期待する。

最後に、災害に強い新庁舎建設と併せて、市政全般においても魅力ある都市の実現を目指し、市民が誇れるまちづくりをお願いしたい。

５　検討経過

（1）第１回大垣市新庁舎建設市民懇話会

と　き	平成 24 年 10 月 16 日（火）　10:00～11:00	
ところ	市役所本庁３階　合同委員会室	
議　題	・市長挨拶	・懇話会での検討事項について
	・委員委嘱	・懇話会への依頼事項について
	・会長、副会長選任について	・現庁舎の現況について

（2）第２回大垣市新庁舎建設市民懇話会

と　き　　平成 24 年 11 月 26 日（月）　10:30～11:40

ところ　　市役所本庁２階　第１会議室

議　題　　・現庁舎における問題点の抽出について

庁舎内見学について

問題点の整理について

・新庁舎に求める機能について

（3）第３回大垣市新庁舎建設市民懇話会

と　き　　平成 24 年 12 月 17 日（月）　9:30～10:30

ところ　　市役所本庁２階　第１会議室

議　題　　・市民アンケート調査の報告について

・先進地に学ぶ新庁舎について

・大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告書について

（4）第４回大垣市新庁舎建設市民懇話会

と　き　　平成 25 年１月１１日（金）　13:00～15:30

ところ　　刈谷市庁舎　先進地視察

議　題　　・先進地に学ぶ新庁舎について

・大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告書について

（5）第５回大垣市新庁舎建設市民懇話会

と　き　　平成 25 年 1 月 29 日（火）　10:00～11:00

ところ　　市役所本庁２階　第１会議室

議　題　　・大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告書について

６　添付資料

（1）大垣市新庁舎建設市民懇話会設置要綱 ･････････････････････････ 資料No.1

（2）大垣市新庁舎建設市民懇話会委員名簿 ･････････････････････････ 資料No.2

（3）会議録（要約） ･･･ 資料No.3

資料No.1

大垣市新庁舎建設市民懇話会設置要綱

（設置）

第１条　大垣市新庁舎を建設するに当たり、必要な事項を検討するとともに、市民の意見及び提案を反映させるため、大垣市新庁舎建設市民懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　懇話会は、次に掲げる事項について調査・研究を行う。

⑴　新庁舎建設の基本計画に関すること。

⑵　新庁舎の機能に関すること。

⑶　新庁舎の規模及び形態に関すること。

⑷　その他新庁舎建設に必要な事項

（委員）

第３条　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

⑴　学識経験者

⑵　市民団体等の代表者

⑶　市民公募による者

⑷　その他市長が必要と認める者

（任期）

第４条　委員の任期は、調査・研究について市長へ報告を行う時までとする。

（組織等）

第５条　懇話会に会長及び副会長を置く。

２　会長は委員の互選によって定め、副会長は委員の中から会長が指名する。

３　会長は、懇話会を代表し、会務を総理する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職を代理する。

（会議）

第６条　懇話会の会議は、会長が招集し議長となる。ただし、委員の委嘱後最初の会議は、市長が招集する。

２　会長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明及び意見を聴くことができる。

（庶務）

第７条　懇話会の庶務は、総務部契約課において処理する。

（委任）

第８条　この要綱に定めるもののほか、懇話会に関し必要な事項は、会長が定める。

附　則

この要綱は平成２４年８月１０日から施行する。

資料No.2

大垣市新庁舎建設市民懇話会委員名簿

【敬称略、区分内・五十音順】

No.	区分	名前	性別	役職名	備考
1	学識経験者	杉戸真太（すぎとまさた）	男	岐阜大学理事・副学長	
2	学識経験者	竹内治彦（たけうちはるひこ）	男	岐阜経済大学経営学部教授	
3	市民団体等の代表者	北野茂樹（きたのしげき）	男	大垣市商店街振興組合連合会 理事長	
4	市民団体等の代表者	國枝義見（くにえだよしみ）	男	大垣市連合自治会連絡協議会 会長	
5	市民団体等の代表者	竹中昌子（たけなかまさこ）	女	大垣市連合婦人会 会長	
6	市民団体等の代表者	堤　俊彦（つつみ　としひこ）	男	大垣商工会議所 副会頭	
7	市民団体等の代表者	長瀬ちえ子（ながせちえこ）	女	大垣夢ある女性の会 会長	
8	市民団体等の代表者	牧野英紀（まきのひでき）	男	大垣市青年のつどい協議会　会長	
9	市民団体等の代表者	松本正平（まつもとしょうへい）	男	元気ハツラツ市実行委員会　委員長	
10	市民公募	大澤智恵子（おおさわちえこ）	女		
11	市民公募	小林志壽子（こばやししずこ）	女		

資料No.3

会　議　録

日　時	平成24年10月16日（火）　午前10時00分～午前11時00分
場　所	本庁舎３階　合同委員会室
会議名	第１回大垣市新庁舎建設市民懇話会
内　容	１　市長挨拶 ２　委員委嘱 ３　会長、副会長選任について ４　懇話会への依頼事項について ５　懇話会での検討事項について ６　現庁舎の現況について ７　その他
出席者 （敬称略）	（委員）【計11名】 杉戸真太、竹内治彦、北野茂樹、國枝義見、竹中昌子、堤　俊彦、長瀬ちえ子、牧野英紀、松本正平、大澤智恵子、小林志壽子 （市）【計４名】 小川　敏（大垣市長）、川合幸典（総務部長）、野崎重光（契約課長）、安田佳樹（契約課長補佐）
欠席者	なし
傍聴者	３名

事務局	～開会にあたって（会長選任及び議事進行をお願いするまでの間、議事進行）～
市長	開会挨拶（略）
事務局	～各委員の氏名を読み上げ、その場にて自己紹介、委員委嘱状を配布～
事務局	～「大垣市新庁舎建設市民懇話会設置要綱第５条」に基づき、委員の互選により会長を選出～
事務局	会長の選出はいかがいたしましょうか。
委員	新庁舎建設は「まちづくり」との関係を考えながら進めていく必要があると思うので、子育て支援や雇用や観光などの委員にもなられてみえる学識経験者、岐阜経済大学の竹内委員にお願いしたらどうかと思いますのでよろしくお願いします。
事務局	ただいま、竹内委員が推薦されましたが、みなさま、いかがでしょうか。
各委員	異議なし
事務局	ありがとうございました。

	それでは、会長は竹内委員にお願いしたいと思います。 続きまして、副会長でございますが、会長よりご指名をよろしくお願いします。
会長	新庁舎建設にあたっては、東日本大震災を経験した今、安全安心な建物に関心が高いと思います。 岐阜大学の杉戸委員さんは、地域防災、地震工学などの専門家でございますので、ぜひ、副会長をお願いしたいと思います。
事務局	杉戸委員さん、いかがでしょうか。
副会長	了解させていただきます。よろしくお願いします。
事務局	ありがとうございました。 それでは、会長に竹内委員、副会長に杉戸委員ということでよろしくお願いいたします。 では、次第に沿って進めてまいりますが、ここからは、会長職が決まりましたので、司会進行を竹内会長にお願いしたいと思います。竹内会長、座長席のほうにお願いいたします。
会長	ただいま、ご承認いただいた竹内でございます。よろしくお願いします。 まずは、本会議の傍聴についてですが、この懇話会は、大垣市情報公開条例に基づきまして、本日の会議で個人情報など非公開とする事案がないことから、本会議は公開とします。 なお、本日、傍聴を希望される２名、報道関係の方が１名、いらっしゃいますので、ここで会場にお入りいただきます。
会長	それでは、「４．懇話会への依頼事項について」に移りたいと思いますが、事務局より説明をよろしくお願いします。
事務局	それでは、市長より当懇話会でご審議いただく内容につきまして「大垣市新庁舎に求める機能について」ということでご依頼をさせていただきたいと思いますので、竹内会長、前の方へお進みください。
市長	～市長より「大垣市新庁舎に求める機能について」依頼状を会長へ渡す～
事務局	ありがとうございました。お席の方へお戻りください。 ただいまの依頼事項は、お手元の資料№2 として「写し」を配布しておりますのでご覧いただきたいと思います。 ～他公務により、市長退席～
会長	続きまして、「５．懇話会での検討事項について」を事務局より説明お願いします。

事務局	お手元に配布しております資料「5頁、資料№3」をご参照ください。 当懇話会は、本日の開催を含めまして全5回、1時間程度の会議開催を予定しております。 第1回目の本日は、今後の懇話会概要やスキーム、建設年度、延床面積などといった現庁舎の現状についてご説明させていただきます。 第2回目は、11月下旬に開催させていただき、庁舎内にあります機械室、執務室、会議室や書庫といった現場を実際に見ていただいた上で、現庁舎の問題点を抽出、その後、こんな機能をもった新庁舎にしてもらいたいというご要望をいただきます。 第3回目は、12月中旬に開催させていただき、今月末締め切りで現在実施しております市民2,000人アンケートの結果を分析・検証、そこからみえてくる現庁舎の問題点をご議論いただき、それらを踏まえた新庁舎のあるべき姿についてご検討いただきます。 第4回目は1月中旬に、最近建設されました先進地をご視察していただいた後、新庁舎に求める機能につき最終検討をお願いしたいと考えております。 第5回目は1月下旬に、4回にわたる検討結果として、新庁舎調査研究結果を市長へ報告していただきます。 なお、当懇話会は、皆様方から現庁舎の問題点等をお聞きするとともに新庁舎に対するご意見、ご要望を聞く会と考えております。特に市民の皆様も関心の高い、新庁舎の建設場所については、現在、様々な角度から検討しております。建設場所に関する内容のご発言等をいただいた場合、参考にさせていただきますが、当懇話会が建設場所を決定する場ではございませんのでご了承いただきたいと存じます。 以上、今後、当懇話会でご検討いただきたい内容でございますので、よろしくお願いいたします。
会長	ありがとうございました。ただいま事務局より説明してもらいましたが、何か質問のある方はお願いします。
委員	懇話会に参加させていただいているということで、周囲の方から、どんな内容を協議しているのかなど聞かれることがあった場合、話してよいのでしょうか。
事務局	個人情報を含まないということで会議は公開としておりますので、話していただいて結構です。
委員	建設場所については参考程度ということですが、機能を議論するうえで、広さと機能は関連性がある問題となってきます。 その点を踏まえて、発言していくということでよろしいでしょうか。
会長	確かに関連性がある内容なので、議論していくことについては問題ありませんが、ここで話した内容で建設場所が決まっていくことではないということでご理解願いたいと思います。

委員	建設場所については、現在、どこで検討しているのですか。
事務局	行政内部に大垣市新庁舎建設推進本部という組織を設置しております。その部会として、候補地検討部会があり、建設場所については、当部会にて検討させていただいております。
委員	その組織には市民の方は入っていますか。
事務局	都市計画部門や道路、公園部門といった市内部の組織です。
委員	ずっと以前から、市庁舎は丸の内のこの場所に建っていたのですか。
事務局	以前は、現在の場所の隣に建っていました。
会長	建設場所については、価格など様々な事情があると思います。意見をいうことはいいと思いますが、この会議の報告内容としてまとめていくものでないのでよろしくお願いします。また、市役所は普段、職員の方々が働いて見える場所ではありますが、市民サービスを提供している場所でありますので、サービスを受ける側として、こういった機能があってほしいなどの要望であるとか、まちづくりや防災という観点からの市役所機能など、どこの場所に建設されても、あるべき機能というものを議論し報告していきたいと思います。
委員	先進都市視察はどこを予定していますか。
事務局	刈谷市役所の新庁舎を視察する予定でございます。
委員	刈谷市は駅前に建設されていますか。
事務局	駅前からは少し離れたところにあります。
委員	建設場所については市で検討しているということですが、場所について、いろいろ想いをもってみえる方もいらっしゃいますので、意見がある方は言っていただいたほうがいいと思います。
委員	これからはコンパクトなまちづくりが必要だと思います。 今後、社会構造が変わって若者より高齢者の方が多い時代になってきます。 先日、武道館へ行きましたが、公共交通機関が少ないので自家用車で行きましたが、高齢化してくると公共交通機関が必要になってきます。 高齢化社会になると、公共交通機関が集中しているようなところで建設することが必要だと思います。

委員	新庁舎の完成予定はどの程度の目途がたっているのですか。
事務局	建設候補地が決定してから7～8年度程度で完成を目指している状況でございます。 その間、公共施設整備基金の積み立てをしながら、庁舎建設にかかる基本構想、基本計画、基本設計等を策定していく予定でございます。
委員	新庁舎の規模はかなり重要な内容になってくると思います。 以前の市町村合併時においては30万人都市を目指していたと思いますが、現段階では将来の合併は想定に入れず、現住民人口から新庁舎の規模を想定すればよいのでしょうか。
事務局	新庁舎の規模は、その中で働く職員数や仕事量に比例するものと考えており、合併しますと当然、仕事量などは増加します。 しかし、現段階で市町村合併が今後、どうなるかという見通しがつきませんので、合併まで見据えた規模までは想定できませんが、ある程度、ゆとりがある広さを想定していきたいと考えております。
会長	いろんな要素を含めて検討していくのは難しいと思いますので、基本的には今の条件をベースにしながら今後どうしていったらいいか議論していきたいと思います。
委員	第3回目に市民アンケート結果分析・検証とありますが、アンケートも聞き方でずいぶん方向性が違ってきたりするので、会議で議題として議論する前に、どういった内容で実施したのかなど把握しておいた方がよいと思います。
委員	市役所が実施するアンケートは内容が曖昧なことが多いので、もう少し工夫をされるといいと思います。
事務局	～アンケート用紙を各委員へ配布～
委員	職員の方が市役所で長い時間を過ごしてみえると思いますので、働きやすい職場という意味で職員さんから意見を聞く方法などは考えてみえますか。
事務局	先ほど話がありました内部組織にて職員に対するアンケートは調査していく予定でございます。 アンケートの観点としましては、今、配布しました「市役所に来庁したことがない方」も含めたアンケート、「市役所に来庁された方」へのアンケート、「市役所で働く職員」へのアンケート、などで実施していく予定でございます。
会長	続きまして、「６．現庁舎の現況について」を事務局より説明お願いします。

事務局	資料「6頁、資料№4」をご参照ください。 縦軸に、住所、竣工年、経過年数、構造といった項目、横軸に庁舎名が記載されております。まず、現在の大垣市の市役所は、3つの庁舎に分かれております。 ここで、右側の7頁も合わせてご参照ください。 庁舎及び後ほど説明させていただきます駐車場の位置図となっております。赤色で囲ってありますのが庁舎で、図面の真ん中が本庁舎、右側に東庁舎、県道をはさみまして、上側に北庁舎となっております。 まず、本庁舎ですが、丸の内2丁目29番、北側にございます車庫が丸の内2丁目79番でございます。昭和39年3月に新築しまして、昭和48年に3階と4階の一部を増築し、築48年が経過しております。構造は、鉄筋コンクリート造４階建、延床面積は、10,736.31㎡、これには、増築部分や車庫が含まれております。敷地面積は、本庁舎、車庫を含めまして8,619.29㎡、でございます。構造体の強度を表す指標、「IS値」でございますが、0.18、大地震が発生した場合0.3以下は、倒壊又は崩壊する危険性が高いと評価されております。 北庁舎（南館）、ここは旧大垣勤労会館でございますが、丸の内2丁目55番、昭和49年2月竣工、築38年経過、鉄筋コンクリート造4階建、延床面積962.34㎡、敷地面積462.19㎡、IS値は1.15でございます。 北庁舎（北館）、ここは、旧労働基準監督署でございますが、丸の内2丁目56番、昭和44年3月竣工、築43年経過、鉄筋コンクリート造2階建、延床面積394.35㎡、敷地面積458.46㎡、IS値につきましては、耐震調査を実施しました平成7、8年度は、まだ、労働基準監督署でございましたので、未調査となっております。 東庁舎、旧消防組合庁舎でございますが、丸の内2丁目26、27、28番、昭和33年6月竣工、築54年経過、鉄筋コンクリート造3階建、延床面積1,471.51㎡、敷地面積790.50㎡、IS値は0.33でございます。以上、3つの庁舎の合計延床面積は、13,564.51㎡、敷地面積は、10,330.44㎡、でございます。 次に職員についてでございます、市の全職員数は、1,398人（病院を除く）、そのうちこの3つの庁舎に667人、これにアルバイトなどの臨時職員を含んで768人が働いております。 次に、駐車場でございますが、来客用としまして、本庁舎敷地内、本庁舎北側、北庁舎西側にございまして、7頁の位置図で申します緑色で囲った部分でございます。183台が駐車可能、内17台が軽自動車専用、4台が障がい者専用となっております。また、公用車駐車場ですが、位置図の青色で囲った部分でございます。市が現在所有している公用車は、307台、このうち車庫、丸の内駐車場、本庁舎周辺合わせまして、100台ほどの公用車が駐車してあります。 1頁おめくりいただき、8頁、9頁をご参照ください。 つづきまして、庁舎内に配置しております部署等でございます。本庁舎屋上は、電気変圧器などが設置されております機械室、無線機室です。4階は、食堂、行政改革推進室等の執務室、防災無線機室や駐車場整理員などの詰所がございます。3階は、議場をはじめとして議長室、各会派の議員控室、水道部関係の執務室がございます。そして、市役所を訪れられる大半の方が利用される1・2階は、市長室をはじめとする執務室、市民の皆さんの相談を受付ける相談室などがございます。また、市民の皆様の利便性向上

	などから岐阜労働局の雇用･就労支援センターや大垣共立銀行市役所出張所などがございます。 続きまして、北庁舎（北館）ですが、会議室、書庫として利用しており執務室はございません。 北庁舎（南館）は、教育委員会全般の執務室となっております。 東庁舎は、２・3階に、都市計画部関連の執務室、会議室があり、1階は大垣市消防組合中署分駐所や書庫となっております。以上、簡単ではございますが、現庁舎の現況についてご説明させていただきました。
会長	ありがとうございました。ただいま事務局より説明してもらいましたが、何か質問のある方はお願いします。
委員	北庁舎についてはIS値が高いと診断結果が出ていますが、耐震的な面だけから考えると、ここは残して他に利用方法を考えていくという方針ですか。
事務局	分庁舎の機能につきましては、新庁舎においてひとつにまとめていきますが、北庁舎は耐震的には問題ないので、他目的に再利用していく予定でございます。
委員	地震はいつ来るのかわかりませんが、近い将来くることは間違いありません。特に大垣市は、地下水が豊富ということで液状化が懸念されますので、耐震対策としては地盤改良が重要になってくると思います。
委員	本庁舎、北庁舎、東庁舎は市の所有建築物ですか。
事務局	建物はすべて市の所有となっております。
委員	現庁舎の場所は駅前からも離れておらず、中心市街地活性化の点から考えても、この場所での建替えなら皆さんに納得していただくのにベターな場所だと思います。 昔、下水道工事が始まったときに資材置き場になっていた現庁舎の東側にある丸の内公園は環境や緑化などの観点から現状は公園として認定してあると思います。 現庁舎敷地での建替えが困難ということであれば、丸の内公園を近隣へ移転させて、その場所へ市役所を建設するということは無理でしょうか。
事務局	都市公園である南公園という広い敷地もございますし、都市計画公園である丸の内公園もあります。それら公園の移転可否も含めて、様々な観点から、候補地検討部会で協議しております。
委員	現庁舎建替えは難しいということであれば、旧農業高等学校跡地（現、南公園運動場）が37,000㎡ぐらいあったと思いますが、そういった場所へ思い切って移転し、機能を集約させてしまう手法などがあると思います。

会長	空地に建設するのではなく、すでに利用されている場所に建設するということだと様々な条件がついてくると思います。 全ての条件を踏まえながら、この会議で議論していくことは難しいと思いますが、ご意見として賜りたいと思います。
会長	ありがとうございました。以上で、本日の議題は終了しました。事務局より連絡事項等あればお願いします。
事務局	～事務局より事務連絡実施～
会長	それでは、第1回目の会議を以上ということで終了したいと思います。皆様、ありがとうございました。

会　議　録

日　時	平成24年11月26日（月）　午前10時30分～午前11時40分
場　所	本庁舎２階　第１会議室
会議名	第２回大垣市新庁舎建設市民懇話会
内　容	１　現庁舎における問題点の抽出について （1）庁舎内見学について （2）問題点の整理について ２　新庁舎に求める機能について ３　その他
出席者 （敬称略）	（委員）【計８名】 竹内治彦、北野茂樹、堤　俊彦、長瀬ちえ子、牧野英紀、松本正平、大澤智恵子、小林志壽子 （市）【計４名】 川合幸典（総務部長）、野崎重光（契約課長）、安田佳樹（契約課長補佐）、小川健志（主査）
欠席者	（委員）【計３名】 杉戸真太、國枝義見、竹中昌子
傍聴者	５名
事務局	皆さん、こんにちは。 定刻となりましたので、ただいまから大垣市新庁舎建設市民懇話会の第２回会議を開催いたします。 本日は大変お忙しい中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。 早速でございますが、竹内会長により司会進行をよろしくお願いします。
会長	それでは、次第に沿って進めてまいります。 はじめに、本日は、杉戸副会長さん、國枝委員さん、竹中委員さんが所用により欠席されております。 それでは次第に沿って進めさせていただきます。本日の議題は２つとなっておりまして、現庁舎の現場を見学した上で問題点の抽出、そして、新しい庁舎に求める機能について皆さんと協議していきたいと思います。 では、早速ですが、庁舎内を見学してまいりたいと思いますので事務局、誘導をお願いします。
事務局	P1～12、資料№.1として図面を添付しておりますので、ご参考にしてください。 なお、本日は、時間の都合もございまして、本庁舎を見学していただきますが、資料としましてはP1～4までとなっております。P5～P12は、参考資料として、東庁舎・北庁舎の図面を添付しておりますのでよろしくお願いします。

	それでは、ご案内させていただきます。 ～庁舎内見学（庁舎内を説明しながら以下の場所を見学）～ 【本庁舎 1F】 ロビー、窓口サービス課、社会福祉課、売店・雇用就労支援センター、夜間・休日出入口、多目的トイレ、機械室、書庫 【本庁舎 2F】 市長室、公室、子育て支援課、授乳室、トイレ 【本庁舎 3F】 第 1 委員会室、議場 【本庁舎 4F】 食堂、大会議室、防災無線室、エレベーター
会長	お疲れ様でした、会議を再開させていただきます。 本日の傍聴についてですが、本日、傍聴を希望される本今の[redacted]さん他 1 名（この後、3 名追加希望があり途中入室：計 5 名）がいらっしゃいますので、ここで会場にお入りいただきます。
会長	では、次第に沿って進めさせていただきます。議題 1 の（2）「問題点の整理」ということで、P13、資料№2 をご参照ください。 「問題点の整理」、「求める機能」ということですが、庁舎の耐震性や防災拠点施設としての機能不足といった問題点がある中で、この先、どういった機能を求めていくのかということを中心に議論していきたいと思います。
委員	教育委員会事務局も庁舎へ統合していくわけですよね。北庁舎、東庁舎にはどの部署が入っていますか。
事務局	北庁舎に教育委員会事務局として庶務課、学校教育課、社会教育スポーツ課、文化振興課、東庁舎に都市計画部として都市計画課、市街地整備室、都市施設課、建築課、住宅課、建設部の土地開発公社が入っています。
委員	保健センターも庁舎へ統合する予定ですか。
事務局	今のところ、保健センターは別で考えております。
委員	大垣は水害が多いわけですが、防災関係は 1 階ではなく 3、4 階など上層階のほうがよいのでしょうか。
事務局	地震だけでなく水害もありますので、水がつからない場所に配置することも必要だと思います。

委員	合併して上石津、墨俣など大垣地域が広がりました。防災という面においては、電話も含めた災害時における情報交換等の機能整備は重要になってくると思います。
事務局	災害対策本部と上石津や荒崎といった現地対策本部との情報交換方法は課題であると考えております。
委員	防災無線の放送ですが、地区によっては何を話しているのかわからないところがあります。 男性の声は聞き取りにくいですが、あれはどなたがアナウンスしてみえるのですか。
事務局	内容を所管する担当課の職員がアナウンスしています。
会長	防災無線放送については聞き取りづらいという提案があったということでよろしくお願いします。
委員	会議室が多数あると思いますが、どういった会議が開催されているのですか。
事務局	会議室については、７月から、「会議内容」、「利用人数」、「利用者は職員か市民の方か」などの利用実態を調査しているところでございます。
委員	１階から４階までで何部屋くらいあるのでしょうか。
会長	会議室に関する資料については再度、まとめていただくということでお願いします。 岐阜経済大学では、会議室は庁内 LAN で予約状況を確認できたり、予約できたりといったシステムが入っています。市では、改めて、利用状況を調査する必要があるのでしょうか。
事務局	市でも予約をするシステムは入っております。ただし、「会議内容」や「職員利用か市民の方の利用なのか」などを入力するようにはなっていませんので調査を実施しております。
事務局	１階の第４、５会議室は選挙時において期日前投票所に利用しております。また、現在、予算編成時期に入っておりますが、予算ヒアリング専用の部屋がありませんので議会の委員会室を利用しており、専用の部屋がないことが現庁舎の課題となっております。
会長	部屋数については、税金を使って建設するわけですから、多すぎても少なすぎてもいけないので、全国的な事例を見れば、庁舎の規模から平均的な設置数が出てくると思います。
委員	規模ということであれば、合併時において 30 万人都市を目指していたわけで、これもまだ可能性が残っているわけですよね。

	16 万人都市と 30 万人都市では規模的にずいぶん違ってきます。例えば、議場でいえば現庁舎では 46 席で 24 席を利用ということでしたが、30 万人都市ですと議員数も増えることになりますね。
会長	確かに、規模が大きくなることよってしわ寄せがでる部分が多数あると思いますが、他の合併した都市だと周辺にある旧庁舎を利用しています。私も審議会関係でいろいろな庁舎に行きますが会議ごとに建物が変わる場合があります。
会長	今日、見学した中で市民サービスの窓口部分は利便性という面からいうと、本庁舎に集中しなくても分散型で設置する方が便利だという市民ニーズもあるのかなという気がしました。サービスの種類は多いほうがいいので、本庁舎に設置しながら他地区にも分散して設置していくということも必要なのかなと思います。
委員	商工観光課と市民活動推進課では同じようなことをやっている場合があります。情報共有したほうがよい場合でも場所的に離れているとできていないことがあります。 民間企業にあるような各課の間にオープンで共有できるようなスペース、縦割り行政の中で横の連携を持たせることができるような機能が大切だと思います。
事務局	最近ですと、仕切った形の会議室と廊下を広くとった形のオープンな打ち合わせができるような場所を作っているところがあります。
委員	証明発行の窓口、相談の窓口、税関係の窓口があると思いますが、目的別で窓口を設置する必要があると思います。 例えば、転入の場合、転入手続きしてから離れた子育て支援課にいかなくてもいいようにしてもらいたいし、手続きであっちに行ったりこっちに行ったりしなくてもいいように、来庁した目的別に、一か所で必要な手続きができるようにしてもらいたいと思います。 証明エリア、税エリア、相談エリアといったレイアウトができるといいと思います。
会長	現実的に可能ですか。
事務局	総合窓口という形で設置して、1 階に設置する部署は一階へもっていきたいと思います。
会長	総合窓口についてですが、コンサルティングが入らないで証明だけを発行する証明窓口と専門的な相談をしなければいけないような相談窓口を一か所に設置するのは不可能ではないでしょうか。 たぶん、内容によって段階をわけないと無理だと思いますが、実際にはどういった形で解決されているのでしょうか。
事務局	総合窓口と言いましても、手法としては、一人の職員がすべて対応するといったスーパ

	ーマン型は難しいと考えております。 そのため、証明発行する場所と相談する場所は窓口としては別に設置する形になると思いますが、一階で、同じフロアに設置すべき部署は必要だと考えております。 また、高齢化社会ということもあり、２階へ移動する手段もいろいろありますので議論は必要かと思います。
事務局	他市庁舎では入口をはいるとフロア全体が見渡せる構造になっていますが、本市の現庁舎では一覧性がないことが特徴で、改善する必要があると思います。
会長	市民サービスに関する意見が出ていますが、他ご意見ありますか。
委員	消費生活相談室に行ったことがあります。仕切りはしてありますが個室になっていないため声が漏れることがありました。相談員の方は気を使っていただけましたが、やはり大きな声で話すと聞こえてしまう状況でしたので、可能であれば、専用の部屋があるといいなと思いました。
事務局	福祉窓口を見学していただきましたが、相談窓口に仕切りはあるものの小さいといったことがあります。 他市庁舎では体ごと隠れるような仕切りがついていますし、必要に応じて専用の部屋を作れるような配慮をしていく必要があると考えております。
委員	ロビーで話していたりすると声がよく反響するような材質を使っているように感じます。快適性に関連しますが、来庁した人たちが包み込まれるような環境が大切だと思います。 椅子の高さにも言えることで市役所は低い椅子が多いような気がします。高齢者が増えているため低い椅子を置いてあるのはわかりますが、低い椅子は逆に立ち上がるのが大変です。 欲を言えば、椅子の種類も統一されていないので新庁舎になればユニバーサルデザインで統一された椅子がいいと思います。
委員	怪我をしたときに福祉課に行って思ったことですが、窓口の椅子が堅くて低いため非常に使いづらかったことがありましたので、できればすぐに改善してもらいたいと思います。
会長	建設からかなり年数が経過していますので、椅子もいろいろな種類が入っていると思いますが、建替えは数年先になるということで、できることなら早急に改善してもらいたいと思います。
委員	現庁舎は西日が強いこともあり、なるべく空調経費などの維持経費が安くすむような構造であったり、材質を使ったりということも重要だと思います。

会長	防災の面では、災害時にすぐ対応できるシステムを持ったほうがよいということで、市民ニーズとして求められているレベルからすれば今は脆弱だということでした。 市民サービスの面では、手狭なことが問題だということで、なるべく優しいワンストップ型窓口サービスの提供、本庁舎だけではなくサービスを分散化していくことが必要という意見がありました。 他はいかがでしょうか。
委員	例えば、岐阜経済大学も学内にLAN環境が整備され情報共有しているというように機能性の一つはシステム化だと思います。 規模なども大事ですが、どこの場所に建設しても必要な機能として、システム化や情報共有など、そういう考え方を積極的に取り入れていく必要があると思います。 今は古い建物なのですべての配線をやり直してなどは難しいと思いますが、市役所の内部にもそういった部分の検討組織はあると思いますので、新庁舎ではそういったことを革新的に取り組んでいくべきだと思います。
会長	ハード面ではなく情報管理・共有化が必要だという意見でした。おそらく、全庁的にオープンな情報とそうではない情報があると思いますが、どういったアクセス権を設定するなどもあり、ソフト的な内容ですが、建設時にはそういったことに対応できるような庁舎設計をしていく必要がありますね。
委員	市民の目から見て使いやすく職員の方が仕事をしやすいIT で効率化された庁舎がいいと思います。
会長	市民アンケートの集計はまとまりましたか。
事務局	10月に市民アンケートを実施しまして現在、集計しているところでございます。第３回会議には結果をお伝えることができると思います。
会長	速報としてアンケート結果を少しお伺いしましたが、「建設にお金をかけないようにしてもらいたい」、「市民サービスを充実させてください」という意見が多かったように理解しています。その中に、「市庁舎はランドマークになってもらいたい」という選択肢がありましたが、そんなにパーセンテージは高くない状況でした。しかし、私は、多少、市庁舎が市のランドマーク的な機能を持ってもいいのかなと思います。 観光的な意味でも、お手元の資料に配布されているように入口玄関の壁画前で表敬訪問の写真を撮影していますが、ヨーロッパでは行事的なものをできる機能を持ったりしています。 どこに建設するかという問題もありますが、サービスを提供する場所以外に、そういった場所があってもいいと思います。 市民の方の意見として、お金をかけないほうがいいということなので、あまりお金がかからないということであれば、広い意味で、例えば、食堂を一般開放してカフェ的に利用するなど一般にオープンな利用ができるような、そういった機能を大垣でも持たせる

	ことも必要かなと感じます。
委員	第 4 回に刈谷市に視察ということですが、パンフレットなど刈谷市の特徴、視察するポイントに関する資料を事前に提供していただくようにお願いします。
委員	刈谷市以外に近場で視察をしたほうがいい場所はありますか。
事務局	近隣で言いますと今年 7 月にオープンしました小牧市役所があります。ただし、議会棟は旧庁舎を利用しており隣に建設した庁舎とデッキで結ぶ形になっています。 大垣市は分庁舎を１つの庁舎にまとめて建設していく予定であり、また、16 万人都市として規模的に同程度の大きさ、面積でという意味から刈谷市にしております。他には、西尾市やみよし市などがありますが、規模的には少し小さくなってしまいます。
会長	いくつか視察先を特徴別で例示していただくような資料をお願いします。
委員	規模、大きさなどといった観点のほかに、中心市街地も踏まえて、大垣市には歴史がありますので、そのあたりも特徴に入れて例示していただければと思います。
会長	それでは、第２回目の会議を終了したいと思います。皆様、ありがとうございました。

会　議　録

日　時	平成24年12月17日（月）　午前９時30分～午前10時30分
場　所	本庁舎２階　第１会議室
会議名	第３回大垣市新庁舎建設市民懇話会
内　容	１　市民アンケート調査の報告について ２　先進地に学ぶ新庁舎について ３　大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告書（案）について ４　その他
出席者 （敬称略）	（委員）【計10名】 杉戸真太、竹内治彦、國枝義見、竹中昌子、堤　俊彦、長瀬ちえ子、牧野英紀、松本正平、大澤智恵子、小林志壽子 （市）【計４名】 川合幸典（総務部長）、野崎重光（契約課長）、安田佳樹（主幹）、小川健志（主査）
欠席者	（委員）【計１名】 北野茂樹
傍聴者	１名
事務局	皆さん、こんにちは。 定刻となりましたので、ただいまから大垣市新庁舎建設市民懇話会の第３回会議を開催いたします。 本日は大変お忙しい中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。 早速でございますが、竹内会長により司会進行をよろしくお願いします。
会長	はじめに、本日は、北野委員さんが所用により欠席されております。 それでは次第に沿って進めさせていただきます。 本日の傍聴についてですが、本日、傍聴を希望される方で、現在、受付を済まされてみえる方、郭町の[redacted]さんがいらっしゃいますので、ここで会場にお入りいただきます。 それでは次第に沿って進めさせていただきます。 本日の議題は市民アンケート調査について事務局より説明、前回の会議でご要望がありました先進地事例の紹介をしていただいた後、アンケート結果や先進地事例を踏まえて、「新庁舎に求める機能」について協議、最後に、当懇話会における最終報告書（案）について皆さんへ提案していきたいと思います。 では、市民アンケート調査について、事務局より説明をお願いします。

事務局	「市民アンケート調査」について、ご説明申し上げます。 今回、多くの市民の皆様のご意見、多様化する市民ニーズに答えるべく、「新庁舎建設市民アンケート調査」を実施しました。 2ページをご覧いただきたいと存じます。 アンケート調査は、10月1日より1カ月間、市内在住20歳以上の2,000人の方を無作為に抽出、郵送にて行った結果、953人の回答があり回収率は47.7%でございました。 3ページをご覧ください。 質問1から5ページの質問6までは属性で、回答者953人の性別、年齢、居住地などでございます。 6ページをご覧ください。 ここからがアンケートの具体的な内容となります。 まず、質問7「来庁経験」でございますが、今までに一度でも市役所に訪れたことがある方が91.4%、一度もない方が6.7%で上石津、墨俣地区の方の割合が高い結果となっております。 7ページをお願いいたします。 質問8「1年間の訪問回数」でございます。1回以上市役所を訪れた方は、4人に3人の75.8%で、そのうち2～3回が最も多く29.8%でした。 続きまして8ページ　質問9「交通手段」ですが、自動車が78.8%と最も多いことが伺えます。 年代別にみてもすべての年代において高くなっておりますが、70歳以上の方については、他の年代と比べると自転車、路線バスの割合が高くなっていることが伺えます。 続きまして9ページをご覧ください。 質問10「来庁用件」でございますが、1番多いのが「戸籍、住民票、印鑑証明等のこと」で61.0%、次いで医療、年金、税金、福祉、子育ての順で、窓口業務に関する用件が8割を占める結果となっております。 また、この主な用件を年齢別にみたものが、10ページ上段のグラフで、子育てでは30、40歳代、60歳以上になると、医療、国民年金、福祉のことが主な用件になる結果が出ております。 さらに、下段のグラフが来庁回数別で、1回の方は「戸籍、住民票、印鑑証明等のこと」が多く、来庁回数が増えるにつれ医療、年金、子育ての割合が高くなり、4回以上の方は福祉、自治会、仕事といった用件で来庁される割合が高くなってまいります。 続きまして11ページをお願いいたします。 質問11では、「今の市役所の問題点」をお聞きしました。

	訪れられた半数以上の56.9%の方が「駐車場、駐輪場が足りない」と感じておられ、次いで「担当部署や出入口が分かりにくい」、「相談できるスペースが足りないし、プライバシーが守られていない」の順となっています。 次に12ページ、質問12「現庁舎の課題」をご覧ください。 「分散化」が34.7%と最も高く、「耐震性」「スペース不足」「防災拠点」など、各課題で200人を超えていることから、概ね4人に1人は課題として認識されていることが伺えます。 続きまして13ページ質問13をお願いいたします。 庁舎建設で一番の関心事と思われる「新庁舎で重要なこと」の上位3つをお聞きしました。 「窓口での手続きが速く簡単にできる」が53.8%で最も多く、次いで「駐車台数が多い」、「高齢者や障がい者の方など皆さんが安心して快適に利用できる」、「災害対策本部機能が発揮できる」「公共交通機関や他の公共施設が近い」の順となっており、利便性の高い誰もが安心して利用でき、災害に強い市役所が重要視されていることが伺えます。 また、この新庁舎で重要とされた主なものを年齢別に見たものが14ページ上段の表、地区別にみたものが下段の表となっております。 続いて15ページ質問14をご覧ください。 新庁舎に併設するとよい機能は、待ち時間を過ごす喫茶コーナー、お子さんのキッズスペース、ギャラリースペースなどとなっています。 続きまして質問15でございますが、新庁舎に期待するご意見を自由記述にてお願いいたしました一部を抜粋したものでございます。 多数ご意見をいただいておりますので、グループ化し、その中の一部を掲載させていただいておりますが、職員に対する叱咤激励、庁舎建設への考え方や思い、新庁舎への期待や希望など、回収件数のうち、実に324件、34.0%の方がこの質問にお答えいただきました。 今回、新庁舎建設市民アンケートを実施し、改めて新庁舎建設に対する関心の高さや市役所の重要性を再認識するとともに、市民の皆様お一人おひとりの貴重なご意見、ご要望を頂戴させていただいた結果でございます。 以上、「市民アンケート調査」ついてご説明をさせていただきました。
会長	ありがとうございました。 ただいま、市民アンケート調査について説明がありましたが、何か質問がある方はお願いします。

副会長	P12、質問 12 についてですが、防災拠点としての機能が不足しているとあります。防災拠点というのは具体的にどういった機能を想定しているのか曖昧な部分がありますので、問 15 の自由記述欄で具体的な機能などを記載してある意見はありましたか。また、アンケートを作った方はどういった趣旨をもって、この選択肢を作ったのか教えてください。
事務局	東日本大震災を受けて、市庁舎の防災拠点機能という意識が大変強くなっていると感じています。 また、先進地においては、電話などの機器を備えた災害対策室を設置していますが、本市では前回、見学していただいたとおり、４階大会議室において災害対策本部を設置しています。しかし、この会議室は、災害対策の専用室ではなく、突然の災害発生時には対応が遅れてしまう可能性もあります。 委員ご指摘のとおり、防災拠点としての機能ということで具体的な記載はしませんでしたが、市といたしましては、そういった趣旨を含めて質問を設定しており、アンケートにご回答いただいた方からは、質問 15 の自由記述欄において、災害時に駐車場で炊き出しをできるスペースを確保してもらいたい、災害時用の備蓄を配備してもらいたい、建物の災害対策機能をしっかり考えてもらいたいという意見がございました。
副会長	炊き出しについては、駐車場の車をどければ可能だと思いますが、防災用備蓄については、庁舎にどの程度を用意しておけばよいのか、難しい点もあります。 自由記述欄において、市民の方々が具体的にどんな機能を求めているのか記載してあれば有効な意見だと思いましたのでお伺いしました。
会長	防災拠点機能についてはアンケート結果からみても非常に関心の高い内容であると思います。 では、今、説明がありました市民アンケート調査も参考にして後ほど新庁舎に求める機能ついて協議していきたいと思います。 次に議題２「先進地に学ぶ新庁舎について」ですが、次回、先進地視察の予定になっていますが、最近の先進事例や視察先を選択した理由などについて事務局より説明をお願いします。
事務局	先進地に学ぶ新庁舎についてご説明させていただきます。 18ページ、資料№2をご覧ください。

	近年、近隣で新庁舎を建設しております先進地は、刈谷市、小牧市、みよし市、犬山市の4市がございます。 人口は、刈谷、小牧市が本市と同じく15万人程度、みよし市が6万人、犬山市が8万人弱でございます。 建設場所はいずれも旧庁舎が建っていた敷地内で、構造は、鉄骨、鉄筋コンクリート、免震構造となっております。 敷地面積、延床面積、階数は、各市の規模によって異なります。 建築面積、これは、建物が建設されている面積であり、建物を上から見たときのフロア面積とお考えいただき、特に1階の窓口関連のフロア面積で参考になるかと思います。 駐車台数は、200台前後となっております。 19ページをご覧ください。 各市の特徴が記載されておりますが、こちらの資料と別に別添資料として各新庁舎のパンフレット資料をお配りさせていただいておりますので、そちらもご参照いただき、実際の写真で説明して参りたいと思います。 まず、刈谷市をご覧ください。～刈谷市の写真をスライドで映写～ 続きまして小牧市です。～小牧市の写真をスライドで映写～ 続きましてみよし市です。～みよし市の写真をスライドで映写～ 最後に犬山市です。～犬山市の写真をスライドで映写～ 再び19ページの特徴をご覧ください。 まず、各市共通ですが、災害に強い免震構造を採用してみえます。 また、犬山市やみよし市では、災害時の飲料水などを確保。 次に、わかりやすい1階・2階に窓口部門を集中しています。さらに、人にやさしいということで、授乳室やキッズコーナーは各市設置してみえます。 特に刈谷市では食堂の隣に会議等に参加されるお母さん方のためにカンガルールームを設けてあります。 さらに環境で、省エネ対策として、雨水の散水利用、井戸水のトイレ利用、太陽光発電、LED照明、壁面緑化などです。 特に変わったところでいえば、小牧市では日差しを遮蔽するグリーンルーバー、内側にもう一枚ガラスを設け、空気の流れを調整するダブルスキンなどを採用してみえます。 また、街との調和では、小牧市が外観や1階窓口レイアウトが小牧山との調和を表しているなど工夫を凝らしてみえます。 以上、「先進地に学ぶ新庁舎」ついてご説明をさせていただきました。
会長	ありがとうございました。

	ただいま、最近、建設されました市庁舎の事例についてご説明いただきました。 人口規模から考えますと刈谷市と小牧市が大垣市に類似していると思いますが、小牧市においては分庁舎方式をとっているということで、刈谷市の視察をするということですが、何かご質問があればよろしくお願いします。
委員	アンケートにも、なるべくコストをかけないようにと意見がありました。建設費用として、小牧市が大体 50 億、犬山市が 37 億円とありますが、刈谷市、みよし市はどれぐらいかかっているのでしょうか。
事務局	建築費用のまとめ方については、建築主体工事や外構工事以外に引っ越し費用や備品購入費など含まれている市もあれば、そうではない市もあり、表現がいろいろ違いますので、細かく調査をしていく必要がありますが、いずれも敷地内で建設されておりますので、用地費は含まず、庁舎本体の建設費用として、刈谷市が 78 億円、みよし市が 23 億円程度です。
委員	他市では防災対策課というのがありましたが、大垣市にはありますか。
事務局	大垣市で言いますと、生活安全課が該当します。
委員	防災対策課というのは普段、どういった仕事をしているのですか。
事務局	生活安全課では、災害時以外、公共駐車場管理や交通対策といった地域安全、防災計画策定といった地域防災などの仕事があります。もちろん、有事の際には、生活安全課が災害対策本部の設置を担当することになります。
委員	災害時以外の仕事も普段やられているということですね。
会長	暴風警報などがあれば、すぐ連絡などが来ますので、常時そういった仕事をやられていると思います。 他にご質問あればお願いします。
各委員	特になし
会長	それでは、説明してもらいました市民アンケートと先進地事例を踏まえて、新庁舎に求

	める機能について協議していきたいと思います。 前回までの結果として、最終、市長へ提出する報告書について、私と事務局とでたたき台を作りましたので、説明したいと思います。 P20、資料№3 に報告書（案）を添付しておりますが、まず「はじめに」ということで、本懇話会の開催経緯や、協議内容といった概要が記載してあります。 次に「現庁舎の問題点」ということで、あまり詳細にわたってまで書かないスタイルで作ってありますが、防災機能が弱いことや施設の狭隘化、プライバシーが完全に保護できていない、一般の方々にも開放できるような多目的な利用ができないといったことを記載しました。 次に「新庁舎に求める機能」ということで、安全性について、これは、防災機能の強化に加えて、個人情報の保護や情報漏洩防止といったセキュリティも含めた安全性について記載しました。利便性については、ユニバーサルデザインを基本とすることが記載してあり、効率性については、情報化時代に対応した建物とすること、その他として他市においてもコミュニティスペースが設置されており、アンケートではなるべくコストをかけないようにとありましたが、建設経費について冗費を排除しながら市のシンボル的な機能を持たせることなどを記載しました。 次に「おわりに」ということで、今後についてですが、本庁舎は、耐震診断結果において耐震性が非常に低い状況で防災拠点どころか、この建物が先に被災してしまうような状況にあること、そして、他事例をみても建設協議に 7～8 年程度の時間がかかっていることを踏まえ、築 48 年が経過している今、鉄筋コンクリート造の一般的な使用期間を 50～60 年程度とすると、時間的な猶予はなく、着実で計画的な新庁舎建設推進を進めていってもらいたいということを記載しました。 そのあとは、検討経過として会議開催日程や議題、最後に添付資料として、懇話会設置要綱名簿、会議録をつけて報告書（案）としてまとめてあります。 これは今までの協議結果として作っておりますので、今後の皆さんの意見については付加させていこうと考えております。 この報告書について、ご意見がある方はよろしくお願いします。
委員	前回会議で小牧市と西尾市が先進事例ですよと教えてもらいましたので、先週、拝見してきました。 夫と一緒に行き、一般市民の目線も加えて訪庁してきましたが、フロアレイアウトやサインがわかりやすいということが第一印象でした。大垣市はどこへ行けばいいのかわからないぐらいゴチャゴチャしていますが、両市とも、部署の設置が島のタイプになっており、窓口が非常にわかりやすかったと感じました。

	本日、パンフレットを拝見させていただきましたが、実際、目で見ることは非常に重要で、刈谷市の視察についても色々と思うことはあります。 特に、両市ともメンテナンスがしやすいような構造になっていると感じましたので、この報告書にも“長寿命化を目指した建物”という意味合いを加えてもらえたらと思います。 一方、両市ともあっさりしすぎていて現大垣市のように、ロビーの大理石前で写真を撮影するような場所はありませんでした。やはり、城下町であり、奥の細道結びの地でもある大垣市ですので、シンボルとなるような要素を持たせてもらいたいと感じました。
会長	利便性とシンボル的機能については、報告書で触れておりますが、長寿命化という言葉はありませんので、建物を建設する以上、当然、配慮する内容ですが、文言として記載できるかどうか検討していきたいと思います。
委員	新しく建設するということで、いろいろな可能性があると思います。最近では市役所に行くことなく用事がすむような取り組みが見られるようになってきた中、窓口サービスが本庁に集約することだけではなく、各地域に出ていくといったような考え方はあれば、追記してもよいかと思います。
会長	市民アンケートでも、各サービスセンターがあるので、わざわざ市役所までいかなくても、用事が済んでしまうようなことも書いてありました。 出先を充実すれば本庁舎にお金をかけなくてもよいという考え方もありますが、その方向性についてはいかがでしょうか。
事務局	国や全国で、住民票などのコンビニ交付といったことを取り組むなど、いろいろな方向性が検討されています。 もちろん、その時々で事情は異なってきますので、その時代の環境を見極めながら庁舎建設計画を進めてまいりたいと思います。
委員	それは法整備が進まないとできない内容ですか、現状でもできる内容ですか。
事務局	法整備がないとできないわけではありません。確かに、上石津や墨俣の方々のアンケート結果では、地域事務所で用事がすんでしまうので、本庁舎へ行く必要がありませんという意見もありました。駅前や市内サービスセンターも含めますと、どうしても本庁舎へ来なければいけない証明などは少ないと思います。そこに加えて、全国的な動きとし

	てコンビニ交付が始まっており、大垣市においても実施に向けて内部検討している状況であります。
会長	簡単な証明発行については地域に分散化していく傾向は必ずあると思います。本庁舎に求められるのは、相談といったコンサルティングが必要になるような、例えば、福祉などの相談に必要なスペースになってくると思います。 防災機能にかかる部分ですが、現在、専用室ではない大会議室で災害対策本部を設置していること、防災無線室などが手狭な状況であるということ、また、上石津、墨俣といったように地域的に距離がある大垣市において、災害時における通信網などをしっかりしておいたほうがよいといった内容でまとめてありますが、その他、ご意見はありませんでしょうか。
副会長	最終的には予算に左右されてしまう部分があると思います。本日の午後、刈谷市役所へ行きますが、刈谷市は交付税不交付団体で非常に裕福な市です。大垣市はそこまで裕福ではないと思いますが、可能な限り財源を有効に活用して、他市に負けない設備にしてもらいたいと思います。 海溝型地震というのは、本当にいつ来てもおかしくないし、間違いなく来る状況で、特に大垣市は養老断層もあります。 刈谷市も大垣市以上に海溝型断層に近いわけですが、更に、高浜という大きな断層もあります。 活断層による直下型地震は非常に発生確率が低いともいわれますが、最近になって、大きな地震に誘発されるというようなこともありますので、愛知県内においては、ほとんどの市町で対策を行っています。 この懇話会では予算や建設場所を議論する場所ではないことはわかっていますが、間違いなく来る地震に対して、予算はかかるとは思いますが、最低限の市行政機能をキープできるような建物にしてもらいたいと強く思います。 何十億もかけずに設備をする方法もあるわけですし、ハード面だけではなく、ソフト的にも対策はできるわけで、他の最先端の事例を取り入れて検討してもらいたいと思います。 市役所だけが残っても周囲が被災していては意味がないというような意見がでると思いますが、災害対策の本部となる市役所、特に、そこに関わる職員の方々が、きちっと働ける環境にあることが一番大事だと思います。いろいろな批判があるかもしれませんが、きちっとした市役所を作ってもらいたいと思います。

会長	他事例を見ますと、立派な免震構造になっており、そういった建物は安心感があるように感じました。 その他、ご意見いかがでしょうか。
委員	職員の方々が効率よく働く環境を整備することで、よりよい市民サービスが提供されると思いますので、職員さんにとって働きやすい環境という意味合いを追記してはいかがでしょうか。
会長	先進事例を見ていますと、明らかに手狭な庁舎であることはわかりますし、新庁舎が建設されれば、かなりの職場改善になることは確実ですが、職員の働きやすさという面も追記していくよう検討したいと思います。
委員	各種団体の代表者が集まっているわけで、我々にはそれなりの建設場所に関する私案をもっており、その意見を出させてもらえるような場があってもいいなと思います。 我々の団体としても各地域に災害時には避難できるような施設でもある地区センターを整備してもらい防災面においても充実していただいていますので、今後は、災害対策本部からスムーズに情報伝達などが出来るシステムを整備してもらえることを願っています。 建設場所を決定してから7～8年かかるということであれば、建物的にもそんなに時間がありませんし、基本構想や基本計画などを策定していくと時間的な猶予があまりないということですが、建設場所や建設年度の目途はどの程度を考えているのですか。 私案ですが、せっかく奥の細道結びの地記念館ができたわけですから、大垣城からの中間地点という意味もありますし、水門川の水が水の都大垣のイメージにもつながると思いますので、なるべく現庁舎敷地にて建替えするようによく検討してもらいたいと思います。
事務局	建設場所については、いろいろな制約などがありますので、条件を整理したうえで、内部で検討しております。また、建物については、今後、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計策定を実施していきますので、建設場所が決定してから7～8年ぐらいを見込んでおります。とにかく場所を早く決める必要がありますので、内部にて様々な角度から協議をしていますのでご了承いただきたいと思います。
会長	他にご意見はいかがでしょうか。

各委員	特になし。
会長	最後の「おわりに」についてですが、「建物の一般的な使用年数から新庁舎建設までには時間的猶予はなく、今後も市民からの意見を反映集約しながら、着実で計画的な新庁舎建設推進を切に期待する。」といった内容を記載していますが、文言等、これでよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
会長	では、次回の視察について、事務局より連絡事項をお願いします。
事務局	＜事務局より、行程、集合時間、集合場所等を連絡＞
会長	それでは、次回、刈谷市に視察することとして、本日、いただいたご意見については、よく検討したうえで追記していきたいと思います。 以上で、第３回目の会議を終了したいと思います。皆様、ありがとうございました。